



Contents

- ◇ 社長室から、こんど~です
- ◇ 経営まめ知識：『M&A（会社の合併及び売買）について』
- ◇ 住宅取得資金の贈与について

11

2012 Vol.108



Photography by Mori

大成経営コンサルティンググループは、財務会計総合コンサルタント業として、
企業経営に関するあらゆるご相談にワンストップで対応しております。

- ◆(株)大成経営開発・・・・・・・・・・財務会計総合コンサルティング <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)エイビスアソシエイツ・・・・・・・・・・記帳代行、給与計算 <http://www.taiseikeiei.co.jp>
- ◆(株)大成不動産・・・・・・・・・・不動産 ・資産運用
- ◆(株)アップワード エスト保険・・・・・・・・・・生命保険、損害保険 <http://www14.ocn.ne.jp/~esthoken>
- ◆(株)大成アフェクション・・・・・・・・・・居宅介護支援、通所介護事業
- ◆(株)大成グローバルトレーディング・・・・・・・・・・商社、貿易業務 <http://www.taisei-gt.co.jp>

アイクス税理士法人・清永税理士事務所・飛石税理士事務所・高木社会保険労務士事務所・竹馬社会保険労務士事務所
所・社会保険労務士あきおか事務所・おかもと社会保険労務士事務所・須賀経営労務研究所・の場土地家屋調査士事務所
所・行政書士法人エド・ヴォン

社長室から、こんど~です



もう秋も深まりそろそろ冬支度の季節です。瞬く間に一年が過ぎようとしています。残すところあとひと月で終わりです。

今年の勉強の締めくくりとして毎年行われている日経新聞社主催の日経フォーラム「**世界経営者会議**」に行ってきました。

今年もいろいろな世界の経営者のお話を聞くことが出来ました。**サノフィ（製薬会社）、メモリーカード世界最大のサンディスク、P&G、タタグループ（インド最大手企業グループ）、ロスネフチ（ロシア最大の国営石油会社）**などです。

日本からは、**三菱ケミカルホールディングス、三井物産、プリチストン、キッコーマン、日産、JAL、ローソン**、でした。特に**日産のカルロスゴーン**社長のお話と**JALの稲盛会長**の印象に残っているお話をご紹介します。

ゴーン社長は日産の社長になって13年、今58歳です。世界に従業員20万人以上、売上9兆円、そしてルノーの提携で両者の販売台数合わせると720万台にもなります。

このグローバル企業を率いていく中で大切なことは、どの国に行ってもその国の状況に合わせた戦略を立てなければならぬこと。そしてビジネスマンは結果を出していかなければならぬ、と言っていました。

ゴーン社長があと何年社長を続けるのか？、次の経営者になりうる人はどんな人か？に対する質問に、何年続けるかは自分がやりたいと思うよりも株主の支持が得られるかどうかであり、次の経営者になる人は育っていると思う、それは今でもかなりの部分で権限を与えさせているが、**もっとも必要な事は情熱のある人、共感能力がある人、周りを説得する力のある人**、という回答でした。

次にJALをたった2年で再生し再上場させた稲盛会長です。稲盛会長は、**ヴィジョン（理想、将来を見通す力）、ミッション（使命、任務）、フィロソフィー（哲学）**を基に再生に取り組んで来られました。

さもすればうまくいかないかもしれない（自分の名誉に汚点を残すかもしれない仕事）であろう再生を無報酬で引き受けた理由は、止むおえず辞めていただいた人もいるが3万人の人が働いている雇用を守る為。JALが潰れてしまうと航空会社の競争力がなくなり航空運賃が高騰する可能性がある。日本のシンボルである航空会社の破たんは日本経済に大きな影響を与える。などの理由で引き受けられました。

まず幹部社員の皆さんに、当たり前前を当たり前前という研修から始め、毎日毎日話し続けられたそうです。みんな最初は、こんなことは知っている、いまさらなぜこんなことを学ばなければならないか、との声もたくさんある中、会長は知っているわかっているをやってこなかった結果が、現状であることを認識しなければならぬと話されています。

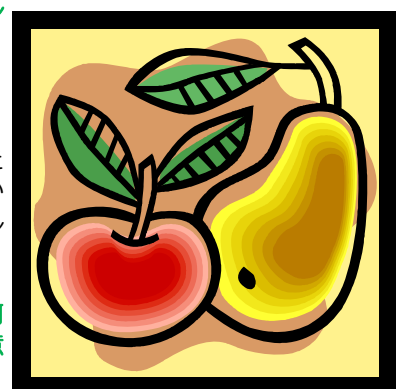
新しい計画を成功させるためには、**強烈な思い**が必要である。**80歳にしてまだまだ日本にとって大切な経営者**だと深く感動しました。

また今の日本の経済の低迷する中、日本の政治にも触れられました。

戦後何もなく政府も何もしてくれない中から、当時の人たちはよくなりたいたいという一心で行動を起こし、立派に経済成長を成し遂げてきたのですから政府をあてにしなくても、日本の国民はまだまだやれますと話されました。

お二人のお話を聞いてまずは思うことの大切さ、**自分が思わないことは何も現実のものにならない、（強烈な願望を心に抱きます）全ての事に熱意をもって取り組む事**を再認識しました。

ありがとうございました。



(株)大成経営開発社長近藤記



社長ブログ：近藤社長の体と会社のダイエット日記
毎日更新しています！是非読んでください！
<http://www.taiseikeiei.co.jp/blog/diet>

経営まめ知識：『M&A（会社の合併及び売買）について』

みなさま如何お過ごしでしょうか？ほんと早いですね！！今年もラストの2か月となりました。今年を振り返るには早い気もしますが、今年も色々ありました。またあと2か月でも色々ありそうな予感ですね！！



ところで最近よく相談があるM&Aについてお話してみたいと思います。まず団塊の方々の定年退職が、世間では問題視されるのと同時に今後の最大のマーケットです。この**団塊の方々の退職**というのは、企業経営者であれば事業承継という事になります。戦後の日本の高度成長を支えてこられた中小企業の社長様のリタイアという事になります。

ところが後継者の方が公務員やお医者様、地方の中小企業であれば息子さんが都会で就職をして帰ってこないなどなど会社は健全でも後継者がいないなどの相談が多くなってきています。

また、業績はそこそこ厳しく借入金などがあるので、どうやって企業を存続させるか売却するかなど非常にお困りの相談も多くなってきました。色々の会社の**規模・業種・業績の善し悪し・後継者の有無・雇用の確保**など広範多義で複雑な問題が発生します。

会社を売却する場合の金額算定においては、投資回収期間・純資産法などによる株価の評価・暖簾代などで金額が決めます。いずれの売買金額であっても問題は、企業が存続できるかと雇用を守れるかなど金額面以外の問題も発生します。

商法・税法・労働法・銀行などの問題が、同時に複合的に発生します。経営者の方としては、一生に一回の問題なのでどうしていいのかわからないと言うのが本当のところではないでしょうか？

しかし、**M&A**が上手くいくかいかないかは、譲る側と譲られる側のM&Aの**目的性と価値観が共有出来るか否か**により成否が決まります。誰に譲るかという事ではないでしょうか？手順としては以下の手順となります。

- 1、事業売却の決定
- 2、売却希望金額の決定
- 3、売却金額以外の諸条件の整理
- 4、売却先の検索と決定
- 5、事業譲渡工程表の作成
- 6、条件の確認と事業譲渡契約書などの作成
- 7、事業譲渡の実行



一般的に以上のような流れになります。

お客様・従業員・株主・銀行などを巻き込むこととなりますので、どうしても**専門家**が必要になります。会社を買いたい売りたい・引退したいという時には、お気軽にお問い合わせください。弊社グループでは、**ワンストップサービス**で各種専門家と専門部署を擁しています。

みなさまのお力になれる事が、私たちの使命です。

最後になりましたが、みなさまのご健勝をお祈ります。

東京事務所にて



会長ブログ：自由人石本の毘沙門天世界放浪記
毎日更新しています！是非読んでください！
<http://www.taisei-gt.co.jp/blog/>

💡 「住宅取得資金の贈与について」

“今年も残すところ”なんて最近よく耳にするようになりました。今年もあと2ヶ月!!!
昇り竜でいきましょい。

さて、そういう弊社もいよいよ確定申告・年末調整の準備に取り掛かっている今日この頃、
今一度、住宅取得資金の贈与について説明いたします。



《直系尊属から住宅取得資金の贈与を受けた場合の非課税制度》

非課税贈与額	省エネ・耐久対応住宅 1,500万円 一般住宅 1,000万円 ※暦年贈与の110万円をプラスする事ができる。 ※相続時精算課税制度と併用ができる。 ※この特例は、住宅取得等のための資金に限られます。
対象者	贈与者の直系尊属からの贈与で、対象は、贈与者が贈与を受ける年の1月1日で20歳以上に限ります。
摘要期間	H24.1.1~H24.12.31の贈与で平成25年3月15日までに住宅を取得し居住開始。またその後も、遅滞なく居住することが確実であること。
対象住宅	1.自己の居住用家屋及びその敷地の購入費用 2.所有家屋の増改築の費用 3.居住用家屋の敷地の用に供される土地や借地権などの取得費用

贈与年	平成25年	平成26年
省エネ・耐震対応住宅	1,200万円	1,000万円
一般住宅	700万円	500万円



この特例は上記でも述べましたが、あくまで**住宅取得等の為の“資金”の場合に限られます。**
借入金の返済資金や、不動産は対象外ですので、ご注意ください。



岡村 泰

編集後記：早いもので、もう11月で来月は師走、いっきに年末へと突入です。
年々、一年が早くなっているような気がします。皆様は如何ですか？ だんだん冬らしくなり、鍋物が美味しく頂ける季節となりました。おなか周りが気になる私としては、油断の出来ない季節でもあります。どうしても食べちゃうんですね！

